



早稲田大学のeラーニング

早稲田大学人間科学部eスクール
早稲田大学遠隔教育センター



eラーニングとは

- ❁ 情報通信技術(ICT)を用いた学習のこと。
- ❁ 主にはLMS(Learning Management System)を利用し、インターネットを経由して実施される。
- ❁ 早稲田大学においては大学設置基準第25条第2項に従い、下記の3点を満たせばeラーニングであっても授業として認めている。
 - ◆ 担当教員から学生に教材や議題の提示がある。
⇒ 講義映像や資料といった教材を授業コンテンツとしてLMSから配信。
 - ◆ 学生からの課題提出の機会、および提出課題に対する担当教員からのフィードバックがある。
⇒ LMSの小テスト・レポート機能を利用。
 - ◆ 学生の意見交換や質問の機会が確保されている
⇒ LMSのディスカッション(BBS)機能を利用。



eラーニングとは

オンデマンド授業（早稲田大学では2001年度より導入）

授業コンテンツとして、予め制作した講義映像を配信する
eラーニング形式で教室授業の一部または全てを代替する授業



- ◆ LMSを通じてのみ視聴可能とし、授業の履修者のみが受講期間中にのみ、いつでも、どこでも、何度でも受講可能
- ◆ LMSの機能を通じ、教員と学生との双方向性を担保
- ◆ コンテンツはストリーミング配信の上、DRM(Digital Rights Management)を施し、複製やダウンロードを防止
- ◆ コンテンツ上の著作物は、すべて許諾を得た上で利用



学生が学びやすいeラーニングとは

eラーニングの受講イメージ（学習履歴の管理方法）



学生

LMS（eラーニング授業システム）にログインして授業を受講

LMSが利用しやすい。
技術的トラブルが起こらない。

アンケートやレポートの受付

受講者へのお知らせ

講義映像配信

PowerPoint資料
スライドは撮影時のクリックに合わせて展開します。

講義映像・資料が分かりやすい。
技術的トラブルが起こらない。

教員の指導が熱心。双方向性がある

学習履歴の管理

- ・ 授業を視聴したか
- ・ レポートは提出しているか
- ・ BBS上で質問をしているか

学生個々の学習状況を参照

BBSで質問受付

レポートや質問への回答、受講の促しなど

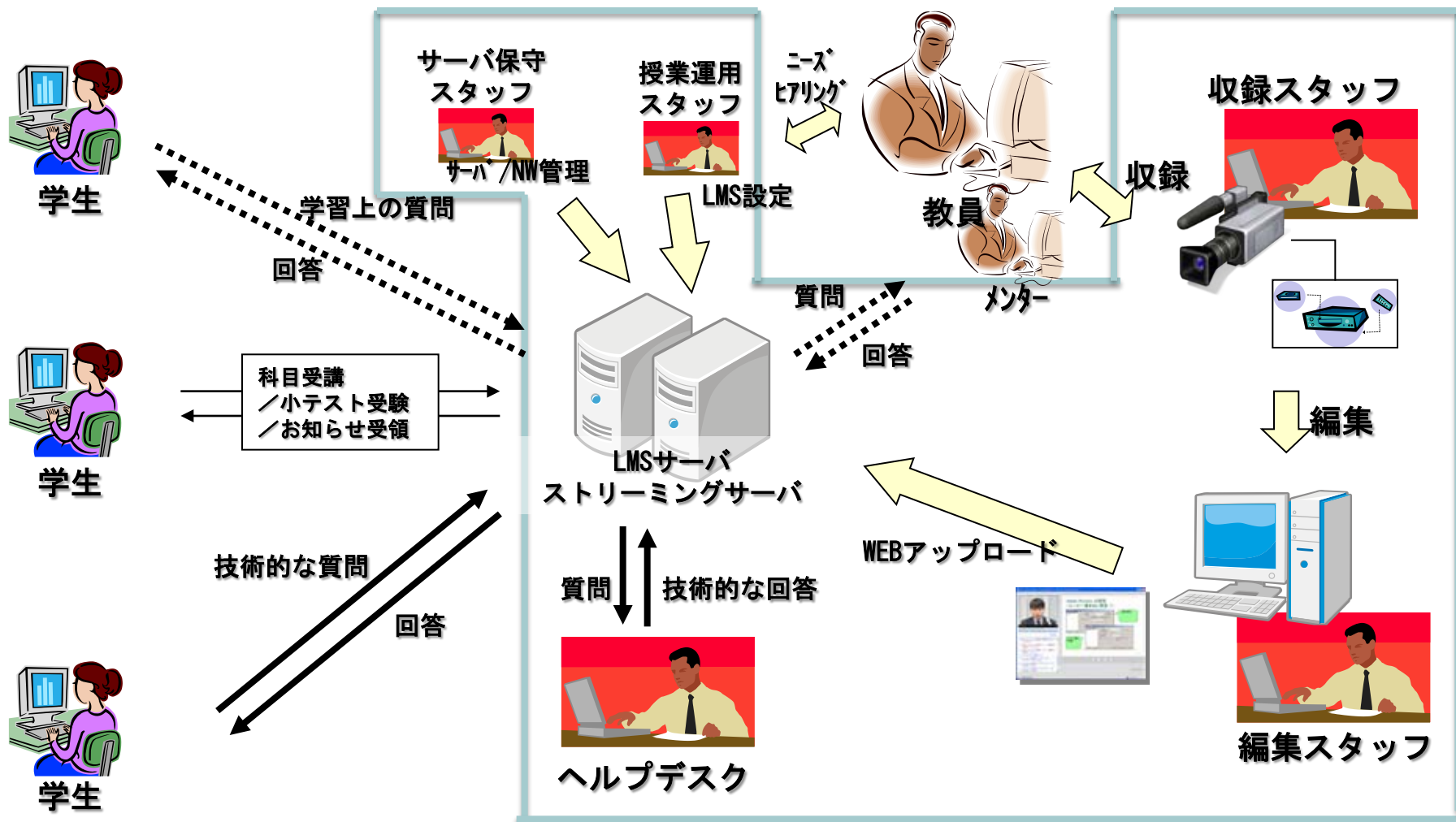
教員

メンター



学生が学びやすいeラーニングとは

✪ eラーニングの運営イメージ（コンテンツ配信システム）



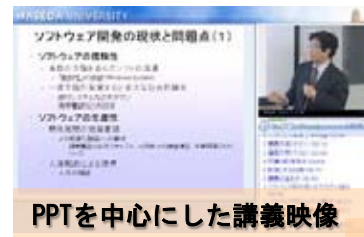


学生が学びやすいeラーニングとは

- **学生が学びやすいeラーニングとは**
- 早稲田大学でのオンデマンド授業運営を通じた経験から。

- ◆ **授業コンテンツが分かりやすいか**

- ❖ 授業担当教員との綿密なヒアリング・相談を経て制作
- ❖ 授業内容に最も適した形のコンテンツ形態を選択



PPTを中心にした講義映像



教室授業を収録した講義映像

- ◆ **技術サポートが整っているか**

- ❖ PC環境による試聴トラブルは少なからず発生する
- ❖ 試聴トラブルの少ないシステムを構築できるか、トラブルが起こった際のサポート体制を万全にできるか



黒板を中心にした講義映像



対談形式による講義映像

- ◆ **教員からのフィードバックが充実している等、学生の受講モチベーションが維持されるような工夫がされているか**

- ❖ 通常顔の見えないeラーニングで、いかにコミュニケーションを図り、受講モチベーションを保つかが鍵。
- ❖ LMSの各種交流用の機能を有効活用、電子ファイル上でのコメントなどを利用



LMSのレビューシートを用いたフィードバック



MS Wordのコメント機能でレポートへフィードバック



早稲田大学人間科学部eスクールについて



早稲田大学人間科学部eスクールとは

- ❖ 2003年4月に開設
- ❖ スクーリングを除くほとんどの科目をeラーニングで実施。
- ❖ 人間環境科学科、健康福祉科学科、人間情報科学科の3学科
- ❖ 通学制同様のカリキュラム。卒業時の学位は学士(人間科学)
- ❖ 設置科目数は約400科目(講義科目、演習、卒業研究)
- ❖ 学生数 約800名(2011年5月現在)
- ❖ 教員数86名、教育コーチ約160名
- ❖ 2007年3月に初めての卒業生。
- ❖ 2011年9月までに、
472名が卒業
- ❖ 2011年までに152名の
看護師・准看護師が入学
(2003~2011年全入学者
の9.3%)





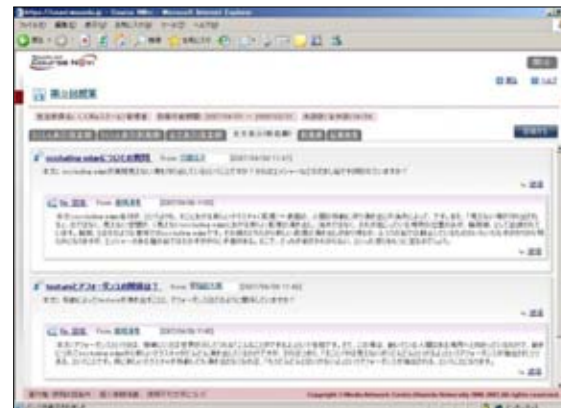
eスクールの授業の流れ



eスクールの授業の流れ



講義の受講



電子掲示板での質問・議論



- ❖ 半期15回(春、秋学期)
- ❖ 1週間ごとに進行(月～日曜)
- ❖ 1科目原則2単位
- ❖ 何度でも繰り返し視聴可能
- ❖ 見逃した場合でもバックナンバーとして視聴可能



レポートの提出



***e*ラーニングを用いた授業のメリット**

❁ **質問：オンデマンド授業についてどのような点がよかったと思いますか？（通学制、複数回答可）**

❁ いつでも、どこからでも受講できる	75%
❁ 講義を繰り返して何度でも受講できる	63%
❁ 講義(教材)がわかりやすい	17%
❁ BBSによって、質問や意見交換ができる	8%
❁ 講義内容への興味・受講のモチベーションが高くなる	7%
❁ 課題やレポートをオンライン提出できる	31%
❁ その他	0%



***e*ラーニングを用いた授業のデメリット**

❁ **質問：オンデマンド授業についてどのような点が不便だと思いますか？（通学制、複数回答可）**

- | | |
|------------------------------|-----|
| ❁ PCを利用しないと受講できない | 40% |
| ❁ 講義コンテンツが見つらい・操作が面倒 | 24% |
| ❁ 講義コンテンツの内容がわかりづらい | 45% |
| ❁ 質問や意見交換の場が少ない | 19% |
| ❁ 講義内容への興味・受講のモチベーションが維持しづらい | 31% |
| ❁ 課題やレポートに取り組みにくい | 10% |
| ❁ その他 | 14% |



学習の質を高めるための支援の方法

❁ 教育コーチによる学生支援

- ❁ 教員とともに学生を指導
- ❁ 原則として修士以上の学位を持つ専門家
- ❁ 専門科目、演習、卒業研究、
ホームルーム科目において
学生をサポート
- ❁ 授業準備、コンテンツチェック
- ❁ BBSやメールでの質疑応答
- ❁ 履修状況の確認
- ❁ 資料郵送
- ❁ スクリーニング準備、授業補助
- ❁ 小テスト、レポート等の設定
- ❁ 採点補助





学習の質を高めるための支援の方法

● LMSの活用(Course N@vi)

◆ 理解度確認のための

小テスト実施

- 穴埋め式、単一選択式、
複数選択式、自由記述式

小テスト画面

設問1 (配点:10点)

次の文章の空欄(1)(2)を埋めなさい。＜自由記述式＞
本講義では、人の情報処理の特性を整理するために、(1)と解の関係における(2)と解という概念の導入が試みられた。

設問2 (配点:5点)

以下の文章の空欄にあてはまる語を選択肢から選べなさい。
茶室のような外界との連絡の度合いの強い空間に入ると、われわれの認識が大きく変わってしまうことがある。このような現象は、人の情報処理が徹底的な
集約によって異なる認識内容になることの一例と言えよう。()といわれる場面も同様の説明が可能と考えられる。

☐ 錯覚 ☐ 洗脳 ☐ 補完水準 ☐ 認知地図

設問3 (配点:5点)

次の文章の空欄を埋めなさい。＜自由記述式＞
月が月始めの地平線近くでは大きく見え、同じ月が空高く昇っているときは小さく見える。この現象は月の()として知られる現象である。物理的に同じ
大きさの月が、地平線を基準とするか天空を基準とするかによって、われわれの月の見え方が異なってくるという点、視覚性原理に基づいていると考えられ

◆ レビューシート機能 による一対一の フィードバック

レビューシート画面

4. 態度のインストラクション レビューシート

担当教員名: 向後 千香 入力開始日: 2010/05/21 00:00 ~ 2010/06/14 23:59 記入者/最終者: 19/29

全読者全閲覧 全読者全閲覧 全閲覧

レビュー (最終更新日) 2010/06/08 03:32:09

★ 200文字入力
態度のインストラクションについて学びました。

本講義、高専学校の教育活動において、とくに1年生は始業をまかされます。早い段階
から学びたいという意気込みで参加しているという姿勢で、本講義の1学期です。
今日の講義を受講して、コミュニティにおける態度のインストラクションについて知識や技
術的な知識は身につけたいとは思いますが、自分自身にも責任を持って考えたいと理解する
ことが出来ました。

私たちが後世へ何を伝えたいのか、実際にコミュニティは忘れてはいけない大切な
ものだと感じました。
1学期の講義を楽しみました。

フィードバック 久美子 (最終更新日) 2010/06/08 22:21:57

はい、コミュニティが役に立っています。

実際にコミュニティの中で受け継がれていくものだと感じました。いかに継続的に
やっていくかという点も考えたいです。実際にコミュニティの価値を改めて見直すこと
につながると思います。伝統と文化などは、みなさんのおかげで残っているのだと
感じました。

学びを通じて、この講義は非常に良い点です。
参加者全員が活躍して大満足だと思います。最後まで興味を持って取り組んでくれた
方々がいます。

レビュー (最終更新日) 2010/06/14 00:23:01

★ 200文字入力
態度のインストラクションについて

態度のインストラクションは、私の中で一番の課題です。
私自身もそうですが、さまざまな場面において「態度」は、目に見えない、本当に重要な
存在です。

講義の中で、コミュニティの中で正統的な問題意識や正統的な価値観により、自分の役割
を見出しているのを感じました。しかし、自分のコミュニティの中では、自分の立場や
役割を見出せていない人もいます。
結果的に、自分の居場所や役割を見出すのは、個人の責任や意識づけが必要になっ
ていくのではないかと感じます。

フィードバック 久美子 (最終更新日) 2010/06/16 21:32:18

はい、コミュニティが役に立っています。

コミュニティのメンバーの相互作用の中で、結果的に自分の居場所や役割を見出
すことができるようになる。その人はおもしろいコミュニティを探そうと思えばいい
と思います。自分の居場所や役割を見出すためにはコミュニティのメンバーと関わり
あつたりしなければならぬ。コミュニティへの参加することによって自分の居場所を
見出す。

そう考えると、理解の人の働きかけによって、個人の責任や意識づけがいかに大切
かが実感できますよ。



学生の満足度

2011年春学期実施学生アンケート結果より(eスクール)

	7段階評定
■ 知的関心を深めましたか？	5.85
■ 自分の将来に役立ちそうですか？	5.95
■ 学習への意欲が高まりましたか？	5.85
■ 満足しましたか？	5.72



運営上の課題

- **運営上の課題**
- ◆ **視聴環境の徹底**
→ eスクールはRealplayerのインストールが必須
- ◆ **履修者からの問合せへの対応**
→ ヘルプデスク、24時間365日メール受付
- ◆ **文字によるコミュニケーションの困難**
→ 相手に誤解されない工夫が必要
- ◆ **公平なサービスの提供**
→ 大学図書館で本を借りることは遠隔地の学生には困難
- ◆ **教育コーチの確保**
→ 適材がなかなか見つからない



ご清聴ありがとうございました